

南部片富士湖だより

No. 78 平成24年11月15日 発行

北上川ダム統合管理事務所 管理第二課

〒020-0123 盛岡市下厨川字四十四田1番地 TEL 019-643-7972 FAX 019-643-7976

松園十景を歩く会 & ダム湖畔写真撮影会 開催



地域住民の方々など計15名が参加

平成24年11月3日(土)、四十四田ダム周辺において、松園商工会と四十四田ダム水源地域ビジョン推進会議主催の「第18回松園十景を歩く会」と「ダム湖畔写真撮影会」が開催されました。

このイベントは、四十四田ダム湖畔の自然や歴史に触れながら『自然・歴史・人』に係わる景観・景色を再発見し、ウォーキングと写真撮影会を通じて交流しながら、地域の魅力を確認しあう事を目的として行われたものです。

歩く会の様子



出発地点の四十四田公園では、盛岡市街地や四十四田ダム、雪を纏った岩手山などダイナミックな景色が見られました。



松園水辺公園の散策道からは湖面に映る紅葉が見えたほか、足元にはコナラやクヌギなどの木の実が沢山ありました。



歴史的に貴重な奥州街道・一里塚・小野松観音など、各要所では地域の活動団体等から説明を受けながら歩きました。



岩手大学滝沢演習林周辺の道沿いには、落葉広葉樹のほか、ガマズミやマムシグサ、ヤマゴボウなどの様々な植物が秋を彩っていました。
←マムシグサ

作品を一部ご紹介します



『松園十景 晩秋の四十四田』



『山の息吹き』



『春日神社』

自然・歴史・人をテーマにそれぞれが感じた秋を写真に収めた参加者。四十四田ダム周辺の全長約13.8Kmのコースを歩きながら、鮮やかに色付いた周辺の木々を見て秋の深まりを感じました。撮影された写真は、後日、南部片富士湖ものしり館等での展示を予定しています。

平成24年度「四十四田ダム床止護岸工」終了

四十四田ダム貯水池上流部の玉山区大字門前寺笹地区に建設している床止護岸工事の本年度分の工事が完了しました。

床止護岸工は貯水池に流入する堆砂の抑制を図る事を目的とし、今年度より3ヶ年かけて河川を横断する床止工の施設を作る計画です。

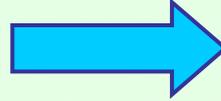
本年度は左岸側に約85mの護岸と163個の根固めブロック据付を行いました。今後は、平成25年度に右岸の護岸と根固ブロック、平成26年度に河川中央部の根固ブロックを建設する予定です。

来年度以降も工事車両の出入りが頻繁となり、ご不便をお掛けすると思われませんが、皆様のご協力をお願い致します。

工事中の風景
7月撮影



今年度分の
完成写真
10月撮影



油の回収費用、
損害賠償金は
原因者の負担と
なります！



↑ 油回収作業の様子

STOP ストップ！油流出事故 STOP

暖房器具を多く使用する時期となりました。そこで気を付けて頂きたいのが油事故です。河川に油が流出すると自然環境等に大きな影響を及ぼす事になります。

油事故を起こさないために「給油中はその場を離れない、目を離さない」「貯油タンクは安定した場所に設置し、転倒防止を行う」「タンクや配管に腐食や亀裂が無いか定期的に点検する」等を徹底しましょう。

雪が降り始める前から配管の破損を防ぐために雪囲いをしたり、配管の場所がわからなくならないように目印を立てておくことも大切です。

油流出を発見したらすぐに最寄りの
消防署・警察署・市町村または県の
機関へ連絡して下さい!!

四十四田の自然

☆今回は湖面巡視時に撮影された鳥特集です☆



アオサギ



体が青色です

カモとサギ



こちらは白いサギ



飛び去ろうと羽根を
広げた瞬間！

キジ



実はここにメスが写っています

編集後記

11月も半ばとなり、そろそろ雪が降る頃です。春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪景色…と四十四田は四季の移り変わりを美しく感じられる場所。綺麗な雪景色も楽しみではありますが、冬の道路は危険もいっぱい！車通勤の私、早めにスタッドレスタイヤに交換し、いつも以上に安全運転を心掛けたいと思います。(小)